

豊川の機能が十分発揮されるよう、関係機関や地域住民と連携しながら維持管理にも力を入れます。

設楽ダム建設にあたって

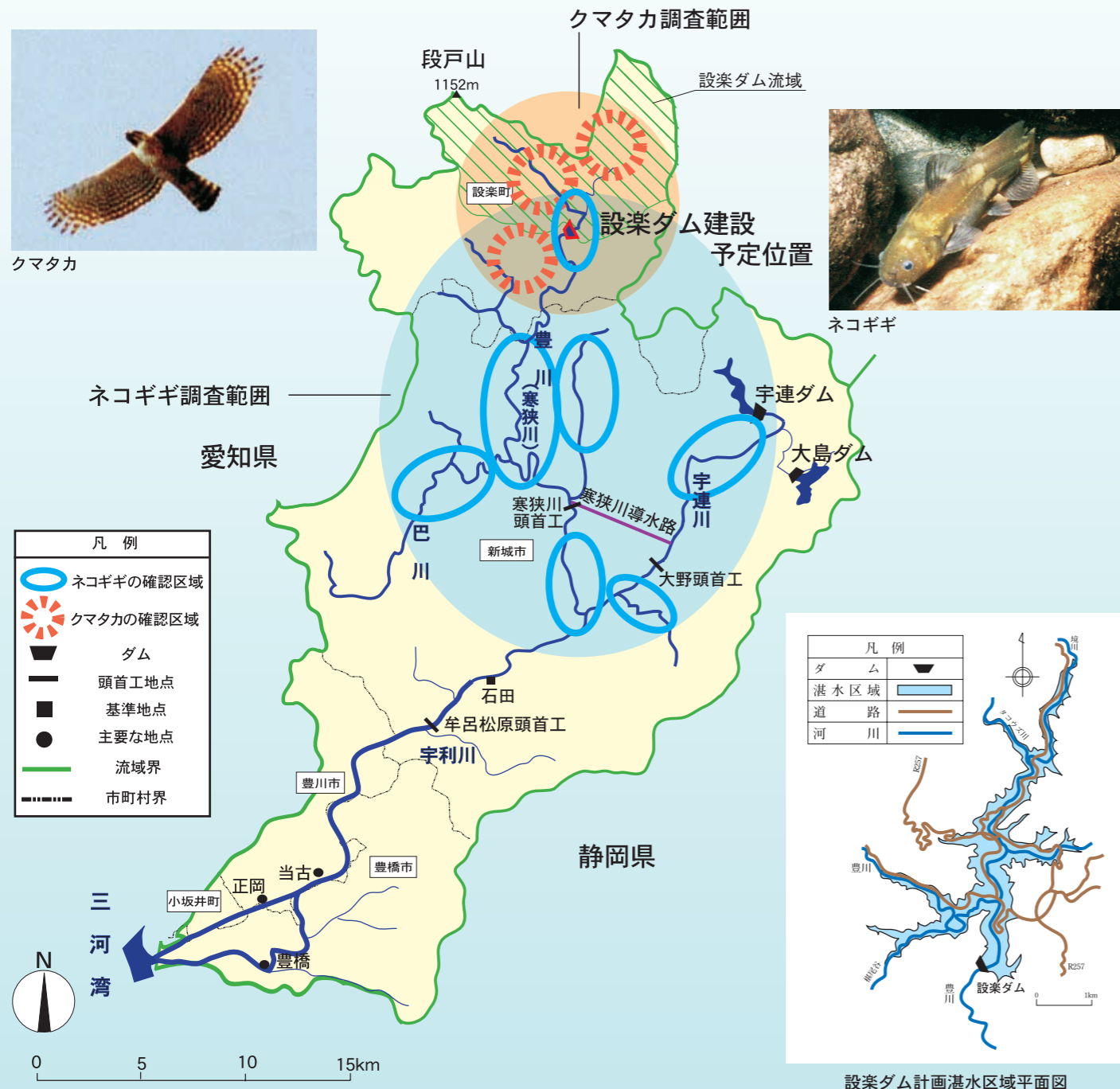
設楽ダムの建設が、動植物や川の水質等に影響を与えることが考えられます。建設にあたっては、あらかじめ調査、予測を行い、その影響を極力少なくして、良好な環境を保全するよう配慮します。また、周辺地域の生活再建や地域整備が図られるよう、地域づくりを支援します。



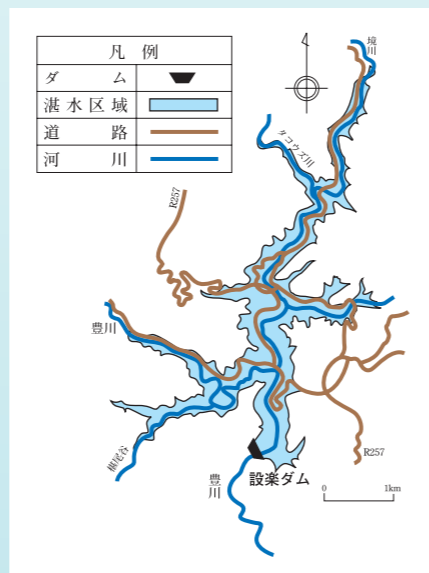
クマタカ



ネコギギ



調査事例（ネコギギ、クマタカの調査及び確認区域）



設楽ダム計画湛水区域平面図

維持管理

河川の良い環境を維持したり、洪水時等の非常時に備えるために、巡視活動や施設点検、補修を的確に行います。また、維持管理活動を円滑・迅速に行えるよう、関係機関との連携を強めるとともに、情報の連絡、提供などのシステムを整備します。

一方、洪水時や渇水時、地震時、水質事故時等においては、被害を最小限にするための適切な施設操作や情報収集・伝達を行います。



河川パトロール



水質事故の対策状況



豊橋河川事務所災害対策室



堤防除草作業状況



ゴミの不法投棄

河川情報システムの整備

河川の水位、雨量等の基礎データや画像の提供を図り洪水等による被害軽減に役立てます。

- ①水位、雨量等の基礎データの収集と提供
- ②CCTVカメラによる画像情報の収集と提供
- ③大規模地震時における被災情報の迅速な収集と提供

自治体との情報交換



豊橋市役所（消防本部防災対策課）に配置した端末



防災情報システムによる提供画面・データ等

水位、雨量の基礎情報
樋門、樋管等ゲートの開閉状況
CCTVカメラの映像



水防活動、水質事故情報等

住民に伝える

これからの豊川のために

河川整備を総合的に実施していくため、次のことを進めていきます。

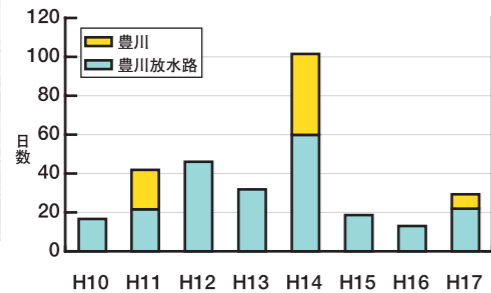
調査研究等の推進

雨や流量、水質、生物の調査をこれからも続けると同時に、森林から三河湾に至る水の循環や、水質問題の調査研究を進めます。

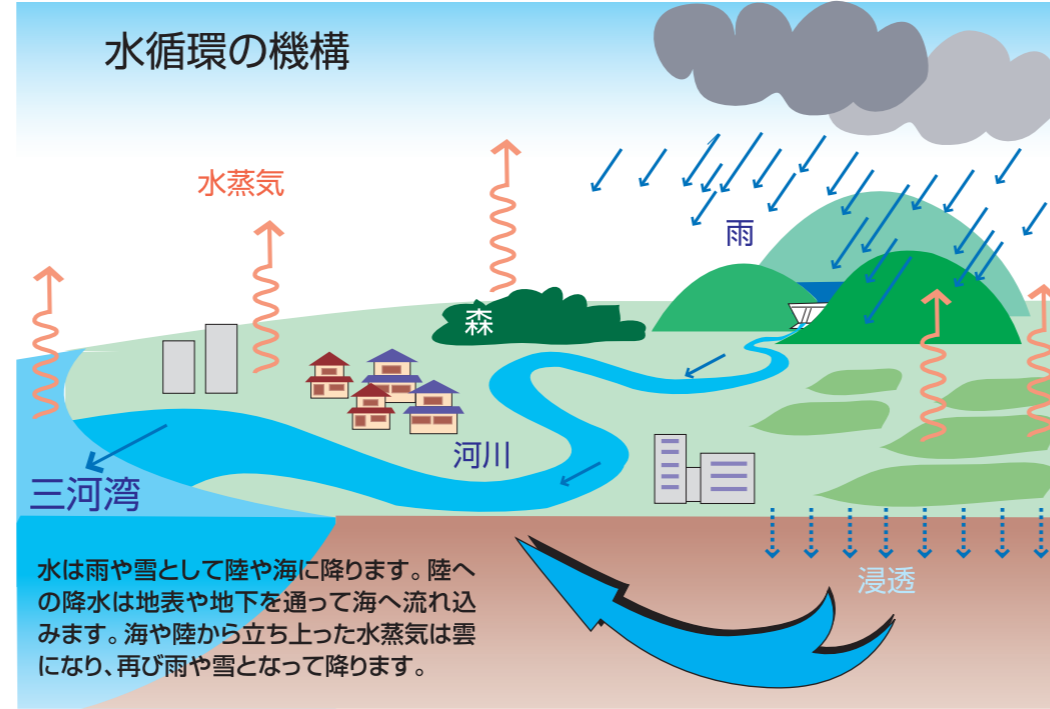


H14.8.1 豊川橋梁 (JR東海道本線) 右岸の赤潮発生状況

赤潮の発生状況



豊川及び豊川放水路での赤潮の発生については、発生の都度、水質分析調査を実施しているほか、平成13年度より、豊川放水路の赤潮発生機構調査に着手しています。



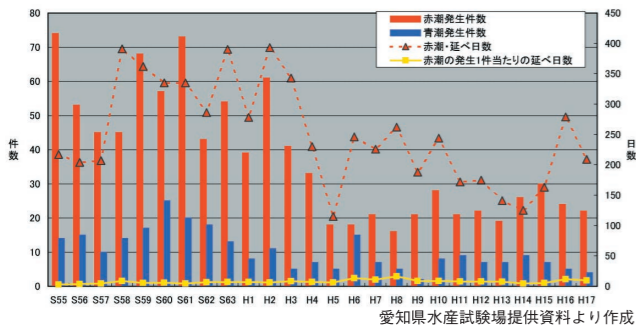
流木調査

矢作川上流域における東海豪雨時の状況



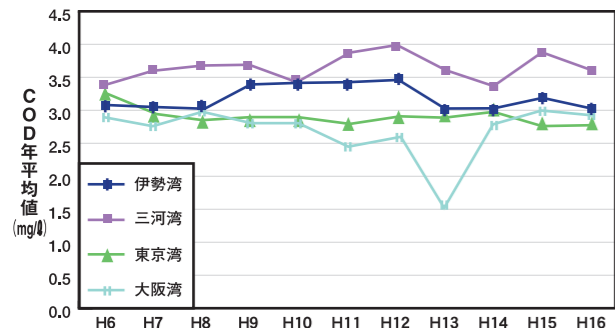
三河湾の水質の現状

三河湾における赤潮・青潮の発生状況



赤潮・青潮とも発生件数は減少傾向にあります。赤潮の発生1件当たりの延べ日数で見れば大きな経年変化は見られず、いったん発生した赤潮は、なかなか消滅しない傾向にあると考えられます。

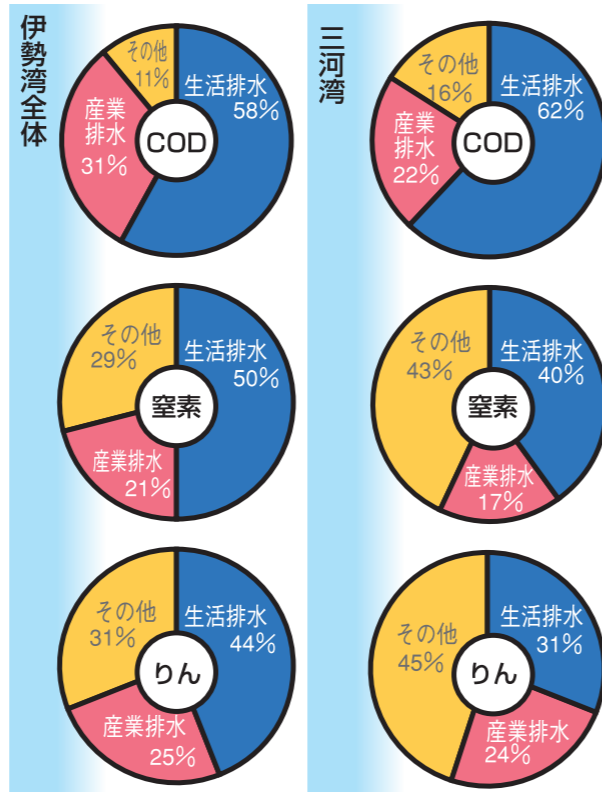
三河湾の水質の経年の変化 (COD年平均値)



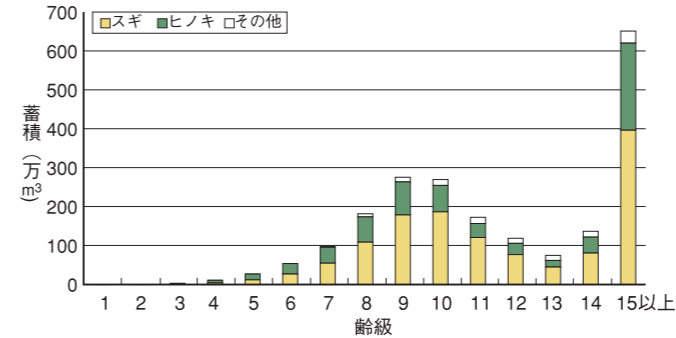
三河湾では、COD年平均値は、全国他水域と比較して高い濃度を示し、経年変化では、上昇傾向にあります。

東三河地方における森林の現状

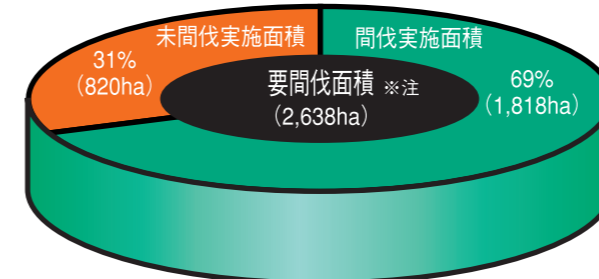
陸域からの汚濁負荷割合 (平成11年度)



人工林の齢級毎の森林資源別蓄積 (H16年度)



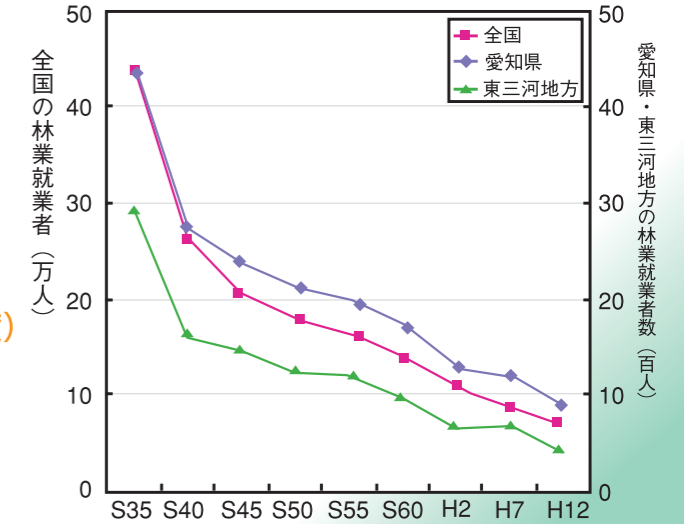
人工林の要間伐面積に対する間伐実施面積 (H16年度)



※注 平成17~31年度までの15年間を平準化した1年当たりの間伐必要面積

東三河地方では、林業就業者数は著しく減少しています。また、スギ・ヒノキ人工林の間伐は、必要とされる4齢級から12齢級の森林面積のうち、年間目標の約3割が未実施となっています。

林業就業者数



(愛知県新城設案農林水産事務所資料、国勢調査)